

|         |               |    |           |          |
|---------|---------------|----|-----------|----------|
| 専門ゼミB   |               | 講義 | 准教授 甲田 智之 |          |
| 科目カテゴリー | 救急救命士コースの必修科目 |    | 科目ナンバリング  | 13130302 |

### 1. テーマ

救急医療、救急・救助、災害対応、その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

### 2. ゼミのねらい・概要

卒業研究・卒業論文執筆を通じて論理的思考と文章作成能力を養うことを目的とする。加えて、救急救命士国家試験に向けた対策を進める。

### 3. ゼミ計画

|                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 国家試験対策①（学力測定①）         | 9. 卒業研究の設計③（「結果」「考察」の意義） |
| 2. 国家試験対策②（学力測定②）         | 10. 国家試験対策⑤（C・D問題への対策③）  |
| 3. 卒業研究の設計①（「方法」の意義と留意事項） | 11. 卒業研究の設計④（「序論」の書き方）   |
| 4. 国家試験対策③（C・D問題への対策①）    | 12. 国家試験対策⑥（C・D問題への対策④）  |
| 5. 卒業研究の設計②（「方法」に関する検討）   | 13. 国家試験模試①（C問題：20問）     |
| 6. 国家試験対策④（C・D問題への対策②）    | 14. 国家試験模試②（D問題：20問）     |
| 7. 中間試験①（C問題：20問）         | 15. 国家試験模試③（D問題：20問）     |
| 8. 中間試験②（D問題：20問）         |                          |

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究で取り組むテーマに関する知識習得、同テーマに関する研究動向の調査、卒業研究の設計に関する検討などに、週1時間程度を要する。また、国家試験に向けた学習に、週7時間以上を要する。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により、個別または授業中の講義を通じて行う。

### 6. 授業における学修の到達目標

卒業研究・卒業論文執筆への取り組みを通じて、論理的思考、文章作成能力等を養う。また、国家試験に向けた基礎を固める。

### 7. 成績評価の方法・基準

卒業研究への取り組み状況（20%）、中間試験の結果（30%）、国家試験模試の結果（50%）により成績評価を行う。

### 8. テキスト・参考文献

救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集C・D問題編（2026年版）（著：小関一英，晴れ書房）

### 9. 受講上の留意事項

3分の1を超える欠席した場合は不合格とする。また、中間試験①②において合計得点率が50%未満、国家試験模試①の合計得点率が60%未満、国家試験模試②③の合計得点率が50%未満の場合は、それぞれ翌週に追加模試（別問題で構成、問題の出題分野は同一）を行い、この結果において前記の基準に達しない場合は不合格とする。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、公的機関等での実務経験を活かして指導する。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。